

学生と社会人が共に学び、  
学生の成長と社会人の知識・スキルを高める

## KITリカレント教育プログラム

# 社会人共学者

前学期

申込期間 (3/2~6/26)

受講者 募集

金沢工業大学では、「自ら考え行動する創造的探究・実践人材の育成」を教育目標に掲げ、2016年度より「世代・分野・文化を超えた共創教育」を実践しています。学生は、正課授業・課外学習を企業の技術者等と共に取り組むことで、幅広い知見やコミュニケーション能力を修得しています。

金沢工業大学「社会人共学者」とは、社会で活躍している社会人の方に授業に参画していただき、学生たちに実際の社会の状況や話題提供をするなどの支援を行い、さらにイノベーション創出に向けて自らも目的・目標をもち、世代を超えて学生と共に意欲的に学べる取組です。

# 社会人が学生・教員と共に学びあう「KITリカレント教育」

Society5.0社会の実現に向けた金沢工業大学のリカレント教育は、社会人が学生や教員と共に学びあい、企業ニーズに対応した大学教育による知識の習得に加え、学生・教員とのネットワークづくりと習得した知識を活用した共同研究・開発による企業の成長をサポートします。



## ■ 産学連携への流れ

教育プログラムによる知識の習得に加え、企業および社会の課題に関する学生・教員とのディスカッションを通じて、新たな発想を創出する場をご提供いたします。また、その発想を社会実装する産学連携についても支援いたします。

### 「社員教育」と「サービス・技術開発」におけるKITの活用方法



産学連携については研究支援推進部にお気軽にご相談ください

[wwwr.kanazawa-it.ac.jp](http://wwwr.kanazawa-it.ac.jp)

## ■ 主なKITリカレント教育プログラム

企業の社員向けにスキルアップのニーズへ対応した多数の教育プログラムをご用意しております。組織として、または個人として受講することができます。

(受講資格や受講料はプログラムごとに設定されています。募集要項等につきましては、以下のURLからご確認ください。)

### 法人対象

- ・ 社会人共学者
- ・ 情報技術教育プログラム
- ・ DXリスキル教育プログラム (検討中)

### 個人対象

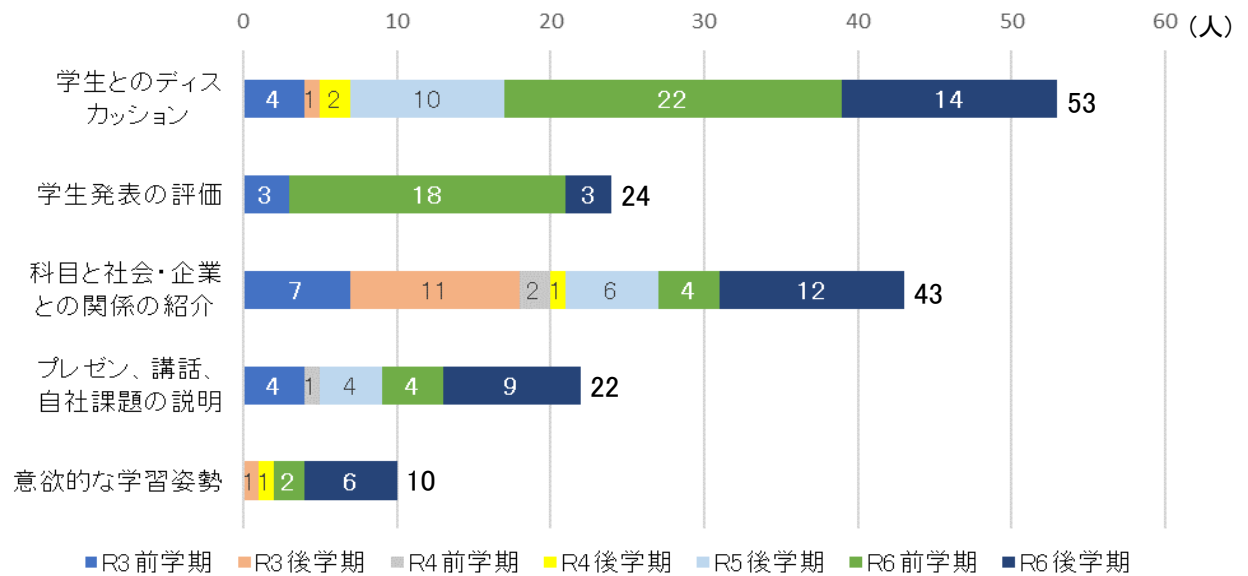
- ・ 社会人対象大学院 (修士課程) 1年制
- ・ 虎ノ門大学院科目等履修生
- ・ プロフェッショナルミーティング
- ・ 原著から本質を学ぶ科学技術講座



詳しくは、KITリカレント教育プログラムHPをご覧ください [www.kanazawa-it.ac.jp/rec](http://www.kanazawa-it.ac.jp/rec)

## ■ 社会人共学者に求められる役割

令和3年度～6年度に社会人共学者が参加した科目について、科目に示されている「社会人共学者に求められる役割」を集計した結果は、次のグラフのとおりでした。

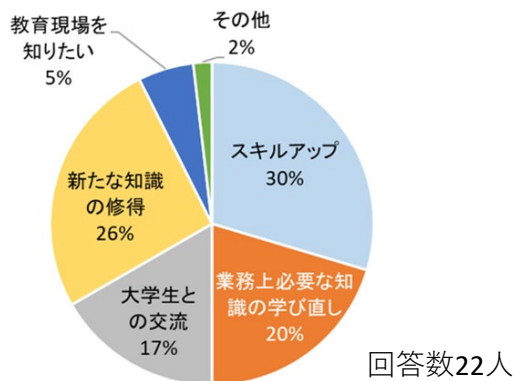


## ■ 社会人共学者に参加された社会人と学生のアンケート結果

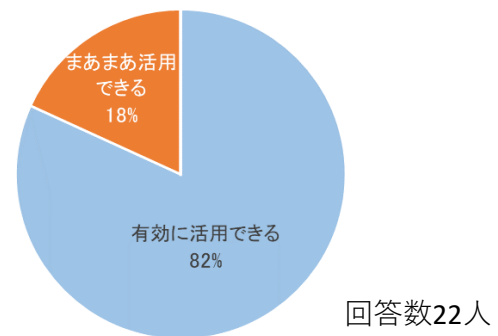
### 1. 学生と共に学んだ【社会人】へのアンケート結果（抜粋）

（令和6年度・前学期）

#### ■ どのような目的で参加されましたか？

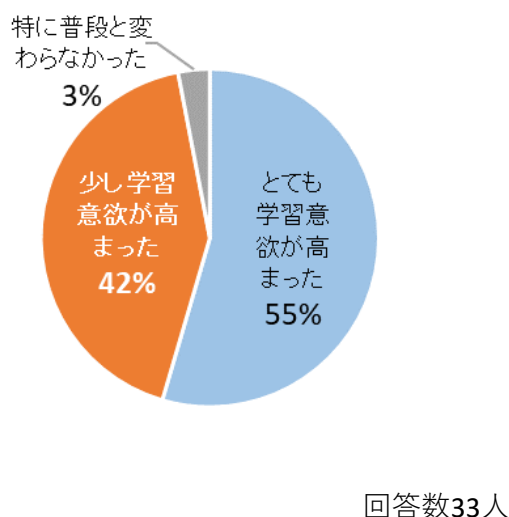


#### ■ 学んだ内容は今後の業務や日々の生活等に活用できる内容でしたか？

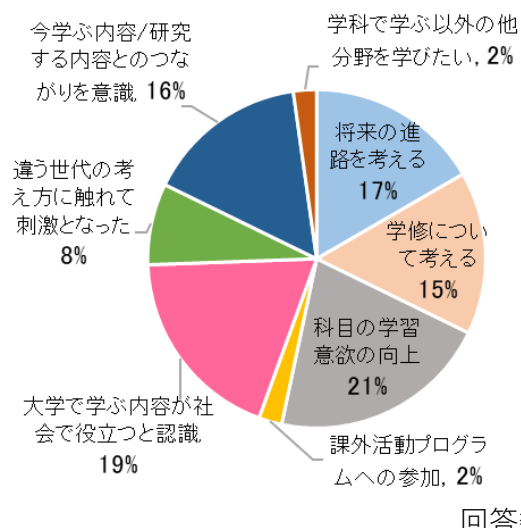


### 2. 社会人と共に学んだ【学生】へのアンケート結果（抜粋）


#### ■ 社会人と学んで自身の学習意欲に変化はありましたか？




#### ■ 社会人と共に学んだこと、感じたことをお聞かせください。



## ■ これまでの社会人共学者の参加事例

項目		内容
年度・期	令和7年度・前学期	 <p>学生の発表に対し、建設業界の具体例を交えてコメントされる社会人（令和7年6月4日(水)）</p>
科目名	イノベーション基礎 [1単位(7コマ)] (環境土木工学科・3年次・必修)	
担当教員	宮里 心一 教授、田中 泰司 教授 花岡 大伸 准教授	
参加授業	参加可能授業7コマの内 1コマ参加	
社会人共学者の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生発表の評価</li> <li>・科目と社会・企業との関連性の紹介</li> <li>・社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化</li> </ul>	
参加者	プレストコンクリート建設工事企業 技術本部技術研究所：1名（北関東在住、本学OB）	
参加動機	後輩学生（若手）の土木工学に関するイメージ・モチベーション等を知りたく、また先輩（本学卒業生）としてアドバイスしたいので。	
授業の様子	<p>学生5～6名によるチーム活動を行い、実社会の課題やニーズを選定し、独自の解決策を創出してプレゼンテーションする授業であり、当日は3教室に分かれて各チームの発表が行われた。参加者は3教室を回り、計3チームの発表を聞き、各チームに建設会社での勤務経験を基に、具体例を交えながら分かりやすくコメントやアドバイスされていた。また、発表終了後、次回の最終発表に向けて修正中の学生の質問に丁寧に対応されていた。</p>	
アンケート	参加目的	自身の経験等を学生に伝えるため。
	学習後の気づき	学生ならではの視点や発想を知る機会となった。これまでに、経験や知識による発想時の土台が構築されていたが、学生の考えを知ること、そういった土台以外の領域で考えることの重要性を確認した。

項目		内容
年度・期	令和6年度・後学期	 <p>授業の感想を発表する参加者（令和7年1月27日(月)）</p>
科目名	情報通信システム [2単位(15コマ)] (電気電子工学科・2年次・選択必修)	
担当教員	横谷 哲也 教授	
参加授業	参加可能授業15コマの内 13コマ参加	
社会人共学者の役割	社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	
参加者	石川県個人事業主：1名	
参加動機	自分の能力向上と大学の講義に参加して学習意欲を向上させるため	
授業の様子	<p>授業はオンライン併用の対面で行われ、通信に使用されるケーブルについて、種類、伝送方式、特徴等を学ぶもので、参加者は最前列でメモを取りながら熱心に受講されていた。</p> <p>1月27日（月）の最終授業では、参加者が授業に参加した感想を学生に発表する機会があった。内容は、日本製品が1980～90年代に世界市場で高いシェアを誇っていた事実と現在の低迷状況を対比させながら、自身の経験を交えて、授業での勉強に加え、学生時代に多くの体験をするよう奮起を促すものであった。</p>	
アンケート	参加目的	スキルアップ
	学習後の気づき	今回選択した科目では、学生との交流はあまりできなかったが、私から、学生に対して意見、感想を述べる機会を与えていただいた。一つでも伝わるのであれば嬉しい。
その他	1月27日（月）にリクルート進学総研の社会人共学者についての取材があり、3月10日（月）にWeb公開された。 <a href="https://souken.shingakunet.com/higher/2025/03/post-3472.html">https://souken.shingakunet.com/higher/2025/03/post-3472.html</a>	

## 必ずお読みください

金沢工業大学「社会人共学者」とは、社会で活躍している社会人の方に授業に参加していただき、学生たちに実際の社会の状況や話題提供をするなどの支援を行い、さらにイノベーション創出に向けて自らも目的・目標をもち、世代を超えて学生と共に意欲的に学べる取組です。本取組は授業運営の協力者を求めるものです。ご理解とご協力をお願いします。

### 社会人共学者に求める役割

- ・ 学生とのディスカッション
- ・ 学生発表の評価
- ・ 科目と社会とのつながりに関する社会人共学者による講話
- ・ 共同研究、プロジェクト内での知識・技術の活用事例紹介 など

<b>プログラム名</b>	社会人共学者
<b>対象期間</b>	2026年度 前学期 (2026年4月8日(水)~7月31日(金))
<b>対象科目・募集定員</b>	<b>科目一覧</b> を参照してください。
<b>参加条件</b>	1. 企業や自治体・団体等にお勤めの方、本学の卒業生の方 2. 自らも目的・目標を持ち、意欲的に授業に参加することができ、学生と共に研鑽する意欲がある社会人の方 3. 授業の進行に応じて、学生に対して社会の状況や話題提供できる方 4. 科目ごとに必要なスキルが指定されている場合は、その要件を条件とします。(詳細は科目一覧を参照)
<b>受付期間</b>	2026年3月2日(月)~6月26日(金) 【この期間内で <b>参加授業回の2週間前まで</b> にお申し込みください。】
<b>申請方法</b>	期日までに <b>ウェブサイト</b> から「申請書」をご提出ください。(2026年3月2日(月)より受付開始) 本学卒業生の方が参加される場合、所属企業からの推薦は不要です。
<b>書類審査・面談</b>	申請書による書類審査と、科目担当教員との面談を行います。
<b>参加許可通知</b>	申請書に記載いただいたメールアドレス宛に通知します。
<b>オリエンテーション</b>	オンラインで随時開催(詳しくは申請書へ記載いただいたメールアドレス宛に通知します)
<b>参加費</b>	無料 ※科目によっては、1コマのみの参加でも可能(担当教員と要相談)
<b>単位認定/修了認定</b>	単位認定/修了認定はありません。
<b>注意事項</b>	申し込み前に、「参加にあたっての注意事項」(下記)をご確認ください。



## ■ 参加にあたっての注意事項

- ・ 「社会人共学者」は、単位修得や専門知識の修得を目的とする本学学生及び科目等履修生とは異なります。単位修得や専門知識の修得を目的とする場合は、別途「科目等履修生」や「情報技術教育」をご利用ください。
- ・ 社会人の積極的な授業参加が、学生と社会人の双方にとって効果的な学習環境となりますので、ご協力をお願いします。
- ・ 学生が受講する本学の正課授業に参加します。1コマの授業は100分です。
- ・ 祝日等の関係で、金曜日に火曜日の授業が行われるなど、授業開講曜日を変更している場合があります。(参照：パンフレット末尾)
- ・ 遅刻、早退は認められません。また、授業中は、携帯電話及びスマートフォンの電源はお切りください。
- ・ 授業で使用する教科書の購入は任意です。購入については教員と面談時にご相談ください。
- ・ 授業に関する録音、撮影は原則禁止です(教員によるオンライン会議ツールの録画は除く)。また、提示資料および配布資料には著作権があります。許可無く対外的に配布しないでください。
- ・ 担当教員の都合によりやむを得ず「休講」となる場合があります。当日の休講に関する連絡については、運営(教務課または共創教育推進室)よりご連絡します。なお、休講となった場合は「補講」があります。補講の日時については担当教員に確認してください。
- ・ 遠隔授業においては、事前に通信環境や接続状況の確認をしてください(通信環境設備、通信費は各自でご負担ください)。通信障害・不具合等により参加ができない場合は、担当教員または社会人共学者窓口までお知らせください。
- ・ 授業前に設定が必要なアプリケーションソフトウェア等がある場合は、授業開始前に担当教員よりメール等でご連絡します。
- ・ 授業中にアンケート調査を実施する場合があります。
- ・ 授業中に広報用および記録用に一部カメラ撮影等が入る場合があります。
- ・ 同一年度中に参加できる科目数は12科目以内です。

# 社会人共学者

1時限 8:40～10:20  
 2時限 10:35～12:15  
 ( 昼休み 12:15～13:15 )  
 3時限 13:15～14:55  
 4時限 15:10～16:50  
 5時限 17:05～18:45

## ■ 科目一覧 2026年度 前学期 [2026年4月8日(水)～7月31日(金)]

(表の見方) 参加可能科目ごとに、参加の際の注意事項を示しています。お申込み前にご確認ください。

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
-	-	科目名を確認してください。 また、講義概要等を記した「シラバス」をあらかじめ確認してください。	授業内容に関連するキーワードです。	受入人数	参加に必要な知識などを示しています。 お申し込みの際の参考にしてください。	科目を担当する教員名	希望する曜日時限を選択してください。 例えば、「月1、月3」は月曜1限または月曜3限の2クラス開講していることを示します。「月1-2」は月曜1限と2限に実施されることを示します。	「時限」のうち参加できる授業回です。 都合の良い回にご参加ください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

■ 英語教育分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
1	1年	<a href="#">イングリッシュトピックス1</a>	会話 (Speaking) 聴解 (Listening) 読解 (Reading)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3 <b>面談時に上記 時限から選択</b>	全15回 ※対面
2	1年	<a href="#">イングリッシュトピックス3</a>	会話 (Speaking) 聴解 (Listening) 読解 (Reading) 語彙と文法 (Vocabulary and Grammar)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3 <b>面談時に上記 時限から選択</b>	全15回 ※対面
3	1年	<a href="#">イングリッシュトピックス5</a>	会話 (Speaking)、 聴解 (Listening)、 読解 (Reading)、 発表 (Presentation)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3 <b>面談時に上記 時限から選択</b>	全15回 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

■ 英語教育分野								
No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
4	2年	<a href="#">アカデミックリーディング2</a>	精読 (Intensive Reading) 語彙 (Vocabulary) 聴解 (Listening) 話す (Speaking) 発表 (Presentation)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3 <b>面談時に上記 時限から選択</b>	全15回 ※対面
5	2年	<a href="#">アカデミックプレゼンテーション</a>	Academic Presentation Speaking Writing Digital Presentation Skill	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月3、月4 火1 <b>面談時に上記 時限から選択</b>	全15回 ※対面
6	2年	<a href="#">イングリッシュセミナー</a>	Speaking/ Listening Reading/ Writing PBL Collaborative Competence Cooperating with community	1名	高校卒業程度の英語力	ウー ジェンティン	月1、月4 火1 <b>面談時に上記 時限から選択</b>	全15回 ※対面
7	1年	<a href="#">TOEIC 初級</a>	TOEIC Grammar (文法) Vocabulary (語彙) Listening Reading	1名	高校卒業程度の英語力 <b>※シラバス3月中旬に公開予定</b>	未定	開講時期未定 <b>※決定次第公開</b>	全15回 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

■ 英語教育分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
8	全	<a href="#">Japanese Communication 1</a>	Communication Reading Writing Speaking Listening	1~3名	日本語教育が必要な方（ゼロ初級）がいらしたら受講可能です。授業中の説明は英語になります。	藤井清美	開講時期未定 ※決定次第公開	全30回 ※対面
9	全	<a href="#">Japanese Communication 2</a>	Communication Reading Writing Speaking Listening	1~3名	日本語教育（初級）が必要な方がいらしたら受講可能です。授業中の説明は英語になります。	未定	開講時期未定 ※決定次第公開	全30回 ※対面
10	全	<a href="#">Japanese Communication 3</a>	Communication Reading Writing Speaking Listening	1~3名	日本語教育（初級-中級）が必要な方がいらしたら受講可能です。授業中の説明は英語になります。	藤井清美	開講時期未定 ※決定次第公開	全30回 ※対面
11	全	<a href="#">Japanese Communication 4</a>	Communication Reading Writing Speaking Listening	1~3名	日本語教育（中級）が必要な方がいらしたら受講可能です。授業中の説明は英語になります ※シラバス4月頃に公開予定	井ノ口 悦子	開講時期未定 ※決定次第公開	全30回 ※対面

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 経営情報分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
12	3年	<a href="#">インダストリアルエンジニアリング</a>	改善 作業研究 標準化 品質管理手法 実験計画法	5名 程度	インダストリアルエンジニアリング（生産工学・経営工学）の基本を学びたい方向向けの授業です。座学だけでなく、簡単な演習も実施します。参加者には、製造業での実務や課題を学生にお話しいただくことも期待しています。	武市 祥司	火3	全15回 基本的に全ての回に 参加いただきたい。 ※対面
13	3年	<a href="#">ビジネスアナリティクス</a>	回帰分析 クラスター分析 決定木分析 KNIME Python	10名 程度	データ分析を学びたい方で意欲のある方を募集します。フリーソフトウェアであるJupyter Notebook(またはPython) およびKNIMEをインストールできるPCが必要です。	武市 祥司	火1	全15回 基本的に全ての回に 参加いただきたい。 ※対面または、 オンライン

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ メディア情報分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
14	3年	<a href="#">メディア情報専門実験・演習B</a>	PC組み立て LAN構築 Physical Computing センサー	4名 程度	プログラミング（マイコンarduinoを利用）もしくはインタラクティブなデザインに関する興味	高野 佐代子	金3-4	面談時に相談 ※対面

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 心理科学分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
15	大学院	<a href="#">ポジティブ心理学特論</a>	ポジティブ心理学 ウェルビーイング ポジティブエクササイズ 心の健康と法律 地域連携	30名	「自分の性格的強み」、「3つのよいこと」等、ウェルビーイングを高める心理的エクササイズを実際に体験していただき、その経験をブレイクアウトルームで、学生を含む受講者と共有していただきます。ウェルビーイングを高めるエクササイズに興味を持っている人なら、特別の知識や技能は不要です。 ※シラバス3月上旬に公開予定	塩谷 亨	火3	全15回の内 8回程度 ※オンライン
16	大学院	<a href="#">臨床心理査定演習 I</a>	質問紙法の基礎 MMPI-3の特徴 MMPI-3の解釈 MMPI-3を用いた報告書 結果のフィードバック	6名 程度	MMPI-3の各尺度の解釈を院生が発表します。その中に含まれる症状や診断名、臨床心理学の用語に関して、可能な範囲でご自分の臨床経験を話していただけます。MMPI-3を使用していたり、使用予定があると有益だと思います。科目の性質上、臨床心理士の有資格者に限らせていただきます。 ※シラバス3月上旬に公開予定	塩谷 亨	水1	全15回の内 7回程度 ※オンライン

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ ロボティクス分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
17	2年	<a href="#">ロボット材料力学</a>	剛体の運動 衝突 仕事とエネルギー 摩擦 慣性モーメント	2名 程度	材料力学と設計に関するトピックを話してくださいと学生に役立つかと思います。(応力、破壊、安全率、変形、有限要素法解析等) 材料力学の基礎を勉強したいという方も歓迎します。	土居 隆宏	月3	第3回～第15回 (試験以外) ※対面

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ バイオ・化学分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
18	2年	<a href="#">バイオ・化学基礎実験・演習A2 (応用化学)</a>	実験操作 有機合成 分光分析 同定	4名 程度	有機化学分野における基礎的な実験 技能を学びます。化学実験の経験は 必要ありません。	坂本 宗明 吉村 治	月3-4	第1回～第4回 (実験の4回。達成度 確認テストは除く) ※対面
19	2年	<a href="#">専門教養特別科目(麹・発酵食品の 歴史と科学)</a>	麹菌 麹 発酵食品 石川の醸造産業	無制限	大学教養程度の生物学の知識に加え、 基礎的な生化学・分子生物学・遺 伝学(バイオ系学科の大学1～2年生 程度)を修得していることが望ましいで す。	相良 純一	火5	全15回 ※対面

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 機械工学分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
20	2年	<a href="#">機械力学I</a>	剛体の運動 衝突 仕事とエネルギー 摩擦 慣性モーメント	2名 程度	機械力学(振動を除く)が現場でどの ように活用されているか講話をお願い いたします。	高野 則之	木1	第1回 ※対面または、 オンライン
21	3年	<a href="#">医用生体工学</a>	生体情報計測 人工臓器 手術機器 再生医療 ドラッグデリバリーシステム	5名 程度	特になし	中村 真人	火1	複数回 面談時に相談 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

■ 電気電子工学分野								
No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
22	2年	<a href="#">教養としての半導体技術入門</a>	半導体 集積回路 (IC, LSI) 光半導体 (LED、レーザ) パワー半導体 ダイオード、トランジスタ	無制限	特になし	山口 敦史	木2	第1回～第3回 ※対面
23	大学院	<a href="#">電気磁気学特論</a>	マクスウェル方程式 電気磁気現象 誘電率 透磁率 テンソル	無制限	特になし	山口 敦史	月1	全15回 ※対面

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 環境土木工学分野								
No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
24	3年	<a href="#">防災工学 I</a>	メンテナンス (維持管理) コンクリート構造物の劣化 コンクリート構造物の対策 インフラのリスク 地域連携	10名	特になし	宮里 心一	月1	第1回～複数回 ※対面・オンライン 併用
25	3年	<a href="#">イノベーション基礎</a>	イノベーション 価値創出 NABC エレベーターピッチ VCF	10名	土木工学に関して実務に携わったこと があり、それを踏まえて学生の発表にコ メントできること (過去、現在には拘ら ない)	宮里 心一 花岡 大伸	水3	第6回のみ ※対面・オンライン 併用
26	3年	<a href="#">建設マネジメント I</a>	建設マネジメント 鉄道交通政策 道路交通政策 災害復興政策 海外プロジェクト	無制限	特になし	木村 定雄	月3	面談時に相談 ※対面
27	3年	<a href="#">土木施工学</a>	土工・軟弱地盤対策 建設機械 基礎工	無制限	特になし	木村 定雄	火1	面談時に相談 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

■ 建築分野

No	年次	科目名 (シラバス)	授業のキーワード	受入人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
28	2年	<a href="#">建築構造力学I</a>	梁 トラス、ラーメン 反力と断面力 応力度 地域連携	無制限 ※受講者多数 のため、物理的 な制限あり。	学生にアドバイスをいただけるのであれば、建築分野における施工管理、構造設計の担当者	山岸 邦彰 河原 大	火3または火4	第6回、第13回、 第15回 面談時に相談 ※対面・オンライン 併用
29	3年	<a href="#">鉄筋コンクリート構造</a>	鉄筋コンクリート構造 構造計算 断面算定 e-ラーニング 地域連携	無制限	学生にアドバイスをいただけるのであれば、建築分野における構造設計の担当者	山岸 邦彰	月3	第4回、第7回、 第9回、第12回、 第15回 面談時に相談 ※対面・オンライン 併用
30	3年	<a href="#">建築情報デザイン</a>	建築設計・生産 BIM ルールベースモデリング シミュレーション ビジュアルプログラミング	5名	特になし	下川 雄一 藤井 健史	月4	第1回目 ※対面
31	大学院	<a href="#">建築構造計画演習</a>	構造設計・構造計算 木構造 鉄骨構造 鉄筋コンクリート構造 地域連携とe-ラーニング	無制限	建築構造計画に興味のなる方ならどなたでも受講可能です。 ※シラバス3月上旬に公開予定	山岸 邦彰 佐藤 弘美 河原 大	水3-水4	第1回目～複数回 ※対面

## ■ 科目の詳細情報「学習支援計画書（シラバス）」について

お申込みの前に、学習支援計画書（シラバス）を必ずご確認ください。  
 科目の参加条件およびご自身の参加目的に即した科目を選択してください。

シラバスには、授業科目の学習・教育目標等が記載されており、下記のシラバス検索システムURLより確認できます。

シラバスに記載内容は以下の通りです。

- 授業科目の学習・教育目標
- 授業の概要および学習上の助言
- 履修に必要な予備知識や技能
- 学生が達成すべき行動目標
- 達成度評価
- 評価の要点
- 具体的な達成の目安
- 授業明細表（各回の講義概要）

シラバス検索システム URL

学部 [https://x.gd/kit\\_b\\_syllabus](https://x.gd/kit_b_syllabus) 大学院 [https://x.gd/kit\\_gr\\_syllabus](https://x.gd/kit_gr_syllabus)

The screenshot shows the search results for 'Disaster Prevention Engineering 1' (防災工学1). It includes fields for course name, credits (2), course code (E724-01), semester (2023 Spring), and department (Faculty of Engineering). Below this, there are sections for 'Learning Objectives' (学習目標) and 'Prerequisites' (履修の必要な学習上の前提).

## ■ 授業スケジュール【2026年度 前学期 授業スケジュール】

- ・前項「科目一覧」と合わせて科目別の授業日時を確認してください。
- ・大学では1学期間を15週に分けて授業を実施しています。

XX  
月1 = 月曜授業日 第1週目

XX  
★O1 = 曜日変更授業日（実際の曜日と異なって授業が開講されます。例：4月30日(木)は水曜日の授業があります。）

### 2026年 4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8 水1	9 木1	10 金1	11
12	13 月1	14 火1	15 水2	16 木2	17 金2	18
19	20 月2	21 火2	22 水3	23 木3	24 金3	25
26	27 月3	28 火3	29 昭和の日	30 ★水4		

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1 創立記念日	2 火7	3 ★月7	4 木8	5 金8	6
7	8 月8	9 火8	10 水8	11 木9	12 金9	13
14	15 月9	16 火9	17 水9	18 木10	19 金10	20
21	22 月10	23 火10	24 水10	25 木11	26 金11	27
28	29 月11	30 火11				

### 5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 木4	8 金4	9
10	11 月4	12 火4	13 水5	14 木5	15 金5	16
17	18 月5	19 火5	20 水6	21 木6	22 金6	23
24	25 月6	26 火6	27 水7	28 木7	29 金7	30
31						

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
			1 水11	2 木12	3 金12	4
5	6 月12	7 火12	8 水12	9 木13	10 金13	11
12	13 月13	14 火13	15 水13	16 木14	17 金14	18
19	20 海の日	21 火14	22 水14	23 ★月14	24 金14	25
26	27 月15	28 火15	29 水15	30 木15	31 金15	